

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・消費マインドに下げ止まりが感じられ、初売りでは、必要な物であれば高価な商品でも売れている。
		百貨店（経営者）	お客様の様子	・売上、買上客数共に、前年に比べて上昇傾向にある。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・1品単価は低迷しているものの、来客数が増加傾向にあり、買上点数も徐々に回復している。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・初売りで来客数が増加したため、3か月前に比べ販売量が増加している。
		乗用車販売店（経営者）	それ以外	・環境対応車への減税と補助金の効果で、新車の販売台数は好調に推移している。
		高級レストラン（支配人）	競争相手の様子	・市内の複数ホテルの撤退が報道されたものの、来客数がわずかに増加している。
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型インフルエンザの影響により、子供向けイベントが中止されたため、例年の売上を下回る店舗が発生している。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・季節要因はあるが需要は安定しており、来客数、客単価共に3か月前と変わらない。消費者には、節約志向の強い客層と余裕のある客層の二極化が見られる。
		一般小売店〔雑貨〕（企画担当）	来客数の動き	・個人消費は、景気の他に気温や季節、行事など影響を受けるが、前年の秋以降は景気が悪化して消費マインドが動いていない。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・大晦日から降り続いた雪の影響で、初売りの売上は例年を下回るものの、以降は前年の売上を上回る日が増えている。全体的な売上は前年割れとなるものの、マイナス幅の縮小や買上点数が回復するなど、明るい兆しも見えている。
		百貨店（経営者）	来客数の動き	・天候の影響やデフレ傾向が続いているため、客単価、来客数共に低迷している。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・大雪など天候の影響は少ないものの、入学式や卒業式向けのフォーマルウェア需要に盛り上がりがなく、来客数、客単価、売上共に例年を下回っている。
		百貨店（経営者）	単価の動き	・クリアランスセールに先駆けて、前月から冬物プレセールを実施しているが、消費者は単品買いの傾向が強く、客単価も低迷している。
		百貨店（販促担当）	来客数の動き	・百貨店販売の大部分を占める婦人服や特選ブティックの売上が、数か月横ばいで推移している。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・まとめ買いにより買上点数は増加するものの、雪による出控えが影響して、来客数が低迷している。
		スーパー（営業担当）	お客様の様子	・悪天候や寒波の影響により、客足の悪い日が多く、売上が低迷している。また、光熱費等が家計を圧迫して、不要不急な買物を控える傾向が続いている。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・20～30代を中心に昼食代の節約が続いており、来客数、客単価共に前年を下回っている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・防寒衣料を値引きしたため、来客数は増えたものの、購買には慎重な姿勢が続いている。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・冬物バーゲンにより、来客数は回復しているものの、客単価は低迷している。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・景気にかかわらず1月の売上は低調であり、来客数は低迷している。	
	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・冬物のセールを通じて、安くても必要な物以外は買わない消費者の意思が感じられ、販売量は低迷している。	
	衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・降雪があり防寒衣料や小物の販売量が増加したものの、消費の活性化にはつながらず、全体的な販売量、売上共に低迷している。	
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・減税や補助金の効果により、環境対応車を中心に新車の販売台数が前年を上回っているものの、低価格車など車種に限定的な状況は変わらない。	
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・国や県の補助金が延長されることになり、今後の新車販売にも効果が期待できるが、中古車販売の売上は低迷している。	
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・初売りの受注台数は前年を上回っているものの、全体的には前年並みの売上で推移している。	

乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・新車販売台数は好調なもの、車検代や修繕費を節約する消費者の様子がみられ、売上は低迷している。	
その他専門店〔呉服〕（経営者）	お客様の様子	・消費者は生活防衛意識が強く、我慢できる物は買い控える様子が続いている。	
その他専門店〔酒〕（経営者）	お客様の様子	・新年会のピークには注文も増加したが、それ以降はケース発注や高額商品の売上が低迷しており、消費者の買い控えは相変わらず続いている。	
その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・消費者は、所得の減少や周囲の状況から買物を控えており、例年に比べて販売量が低迷している。	
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・景気後退で石油製品の販売量は減少しており、仕入価格の上昇で適正な利益確保ができないことから、厳しい経営が続いている。	
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・販売量はあるものの、市場価格の変動で利益が薄く、厳しい経営が続いている。	
一般レストラン（経営者）	それ以外	・宴会の売上は前年を上回るものの、規模の縮小や客単価の低下が続いている。	
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・新型インフルエンザの感染が減っており、3か月前に比べて来客数は増加している。	
観光型ホテル（スタッフ）	それ以外	・法人客、個人客共に景気の先行きに不安があり、3か月前に比べて来客数、客単価共に低迷している。	
都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・宿泊客、新年会の予約状況共に例年並みで推移している。	
旅行代理店（店長）	販売量の動き	・新婚旅行の受注により海外旅行の売上は好調だったものの、国内旅行は近距離で低価格な案件が多いため、売上は低迷している。	
通信会社（営業担当）	来客数の動き	・消費者の先行き不安から、消費は低迷している。	
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・携帯電話の新規購入が低迷している。	
観光名所（職員）	販売量の動き	・台湾からの入込で来客数は増加しているものの、客単価が低いため、売上は前年並みで推移している。	
遊園地（経営者）	来客数の動き	・期間限定の営業をしたが、寒波により三が日の来客数は低迷したものの、成人の日の連休で前年並みの売上を確保している。新型インフルエンザの流行は衣服している。	
美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数、売上共に前年を下回る傾向が続いている。	
設計事務所（経営者）	お客様の様子	・時期的な要因もあるが、前月と同様に受注量は低迷している。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・寒波による交通機関への影響から、初売りの来客数が例年を下回り、各店とも売上は苦戦している。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・強い雪の日が続く、商店街の来客数は減少している。一部で売上の良い飲食店があるものの、物販の店では特に衣料品店の売上が落ち込んでいる。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・初売り以降は出控えているのか、商店街の通行人はまばらである。
	一般小売店〔書籍〕（経営者）	単価の動き	・政権交代後の経済不安が広がり、企業倒産や雇用環境の悪化が続いて、売上が落ち込んでいる。
	一般小売店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・来客数に動きがなく、静かな状況が続いている。
	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・天候の影響と消費者の買い控えから、来客数、買上点数共に前年を下回っている。
	一般小売店〔カメラ〕（店長）	販売量の動き	・一段と低価格志向が強まっており、販売量、売上共に落ち込んでいる。
	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・福袋や初売りの売上は良いものの、前月にセールを前倒した反動でクリアランスの来客数が低迷し、主力商品の売上が例年を割り込んだため、全体では厳しい状況である。
	百貨店（広報担当）	それ以外	・消費者の節約志向や買い控えは続いており、クリアランスセールの前倒しや例年を上回る降雪なども影響して、厳しい営業状況は続いている。

スーパー（店長）	来客数の動き	・競合店との価格競争は続いており、消費者が低価格商品を買回りしているため、来客数、売上共に減少している。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・客単価の前年割れに下げ止まりが感じられるものの、来客数、買上点数共に前年を下回っている。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数は前年並みで推移しているものの、客単価の下落と正月三が日の天候が影響して、売上は前年を下回っている。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・オフィス街や繁華街などの中心部にある店舗では、来客数、客単価共に落ち込んでおり、競合する店舗も状況は変わらない。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・高価格帯の商品は売れず、買上点数、客単価共に落ち込んだままである。
衣料品専門店（店長）	単価の動き	・初売りには例年並みの来客数があるものの、消費者は買物の予算を引下げており、より安い物を買う傾向がみられる。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・来客数の減少に歯止めがかからず、特にビジネス小物の売上が激減している。
家電量販店（店長）	単価の動き	・来客数は前年並みで推移しているものの、3か月前に比べて1品単価、売上共に低下している。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・環境対応車への減税や補助金と新型車投入の効果により、登録台数の増加で2年前の販売台数を上回っているものの、補助金の延長決定で新車の受注は当初の見込みを下回っている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・環境対応車への減税や補助金の効果が薄れて、販売台数は減少している。
住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・住宅着工数の低迷や新入学用機の価格上昇により、販売量が前年を下回っている。また、低価格品が主流の一部店舗に客が流れている。
住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・初売りの催事で降も、1品単価、来客数共に低下が続いており、学習機やひな人形の販売量は前年を下回っている。
その他専門店【パソコン】（経営者）	販売量の動き	・消費者の購買意欲は低く、3か月前に比べて販売量に動きがない。
その他専門店【食品】（経営者）	販売量の動き	・初売りの販売量が前年を大きく下回っており、全体的な売上が落ち込んでいる。
その他専門店【靴】（経営者）	お客様の様子	・3か月前に比べて、消費者は一段と価格に厳しくなっている。同じ商品であれば他店と比較してから購入する様子が見える。
その他専門店【酒】（営業担当）	来客数の動き	・新年会や成人式などの需要は一段落したものの、飲食店の売上が低迷して、受注が減少している。
一般レストラン（支配人）	来客数の動き	・消費者の財布のひもは固く、夜の来客数は大幅に落ち込んでいる。
その他飲食【弁当】（スタッフ）	来客数の動き	・老舗ホテルが倒産しており、中心市街地への客足は3か月前に比べて減少傾向にある。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・正月の利用も地元客に限られ、県外客や新規客の来館がないため、館内消費や売上は例年を大幅に下回っている。周囲のホテルも同様な状況である。
都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・大きな宴会受注による宴会や宿泊の売上はあるものの、全体では前年の売上を下回っている。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・消費者を取り巻く環境は厳しさを増しており、必要な物しか購入しない傾向が強まっている。新年会の受注が前年を下回り、ランチタイムやデパートの総菜売場では来客数、客単価共に低下している。
都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・オフシーズン対策として、ネット予約価格をビジネスホテル並みに設定したものの、レストラン部門を除いて稼働率が落ち込んでいる。
都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・法人の会合は、経費削減の要請や参加者が予定を下回ることが多く、受注件数の増加が売上につながらない。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・海外旅行は販売量が回復しているものの、売上は前年を下回っている。
タクシー運転手	単価の動き	・料金を比較してから、乗るタクシーを決める客が増えている。

		タクシー運転手	来客数の動き	・新年会の人出に期待したが、乗客数は前年の半分以下で推移している。景気の底打ちは感じられない。	
		その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・消費者は低価格志向が強く、赤字覚悟の原価割れ特価キャンペーンには来客数が増えるものの、売上が落ち込んでいる。	
悪くなっている		一般小売店 〔茶〕（経営者）	それ以外	・必要な物でも低価格品を探して購入しており、安売りにも来客数は減少している。	
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	それ以外	・季節的に風邪薬の購入客は増加しているものの、必要な回数分だけを購入するため、買上点数、客単価共に前年を割り込んでいる。	
		スーパー（経営者）	単価の動き	・来客数、販売量、客単価共に前年を割り込んでいる。	
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・消費者の財布のひもは固く、生活防衛意識が強まっている。	
		スーパー（店長）	お客様の様子	・来客数、1品単価共に前年を下回り、売上が大幅に落ち込んでいる。特に1品単価の下落は歯止めがかからない。	
		スーパー（店長）	販売量の動き	・消費者の節約志向が強まり、低価格品の販売量は前年並みで推移しているものの、高額商品の販売量が前年を割り込んでいる。	
		スーパー（店長）	来客数の動き	・天候の影響もあり、悪かった前月を上回って来客数が落ち込んでいる。	
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・半月ほどの限定営業となったが、来客数、売上共に前年を下回っている。	
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・お昼に法人客の利用はあるものの、夕方以降は来客数、売上共に落ち込みが続いている。消費者の財布のひもは一段と固くなっている。	
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・外食が敬遠される傾向にあり、3か月前に比べて売上は落ち込んでいる。	
		一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・同業者の話では、売上の悪い店だと例年の30～50%に落ち込んでいる。	
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・平日だけでなく、お正月や週末にも空室が発生しており、前月に比べて来客数が減少している。	
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・来客数、客単価、館内売店の販売量共に例年を下回っている。	
		タクシー運転手	販売量の動き	・繁華街の至る所に客待ちのタクシーが駐車しているものの、乗客が少ないため売上は悪化している。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・当業界全体の景気が落ち込んでおり、3か月前と変わらない。		
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・介護施設などの受注は好調なものの、戸建住宅の新規受注が落ち込んだままである。		
企業動向関連	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前に比べて、低価格商品の受注量が多少改善している。	
		木材木製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・住宅部材の需給バランスが調整され、販売価格が改善されている。	
		金属工業協同組合（職員）	受注量や販売量の動き	・電子デバイスや電気部品の一部で引き合いが増えており、注文しても入荷しにくくなっている。	
	変わらない		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・商材の販売価格を引下げられないため、売上が前年を下回っている。
			土石製品製造販売（従業員）	それ以外	・賞与や給与の減額など、企業経営は厳しく、景気は低迷している。
			一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・自動車部品の生産は回復傾向にあるものの、2年前の70%の受注量に留まっている。
			建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・降雪が影響して、外部工事の進捗が遅れており、得意先では工事の発注を見合わせている。
			建設業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・自動車や半導体など一部の業界では明るい話題があるものの、受注量、販売価格共に厳しい状況は3か月前と変わらない。
			輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・一部荷主から料金改定の要請があり、自社の決算見通しから厳しい対応を迫られている。
			通信業（営業担当）	取引先の様子	・取引価格の厳しい値下げ要請に対応できず、古くからの取引先でも解約されるケースが出始めている。
			金融業（営業担当）	取引先の様子	・消費低迷の影響により、大手スーパーが駅前から撤退している。

	金融業（広報担当）	取引先の様子	・政策効果により、自動車販売や建設関係の一部で一息つく姿も見られるが、他の業種では収益改善の動きがみられない。
	広告業協会（役員）	それ以外	・初売りの広告受注は、受注件数が増加したものの、売上は前年並みで推移している。
	広告代理店（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・年度末関連の受注に動きはあるものの、受注価格の低迷は続いている。
	公認会計士	取引先の様子	・売上減少が続く一方で、人件費等の固定費がネックになり、赤字決算のクライアントが多い。
	コピーサービス業（経営者）	受注量や販売量の動き	・官公庁や企業の発注に偏りはあるものの、3か月前に比べて仕事の受注に大きな変動はない。
	その他企業〔企画業〕（経営者）	取引先の様子	・取引先の住宅会社では、受注を安定確保している会社がある一方で、苦戦している会社もある。
	その他企業〔管理業〕（従業員）	それ以外	・従業員の配置転換などで大規模な人員削減した地元の企業は、まだ経営再建の方向性も決まらない状況である。
やや悪くなっている	農林水産業（従業者）	受注量や販売量の動き	・前年の注文数を踏まえて生産農家直売米の在庫を増加したが、注文数が前年を下回っており、今の時期でも在庫を多く抱えている。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・初売りの売上が例年を割り込み、その後の販売量も例年に比べて動きが悪い。
	食料品製造業（総務担当）	競争相手の様子	・販売店で小売価格を下げた影響が大きく、数か月前から前年割れが続いている。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・経費削減により、官公庁の発注は小さな案件でも見種競争が増加し、民間企業からの発注は減少している。
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・半導体などの受注は3か月前に比べて回復しており、一部業界では景気の悪化に弱まりがみられるものの、全体的な景気は悪化が続いている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・取引先のスーパーマーケットでは、食料品の買上点数、客単価共に落ち込んでいる。
悪くなっている	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・前年の秋に豊作となった果物は、販売価格が前年の40～50%減と大幅に下回り、原価割れしている。
	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・売上が低迷して、前年を15%下回っている。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・チラシ折込の依頼が例年になく激減している。また、家計や商売の厳しさから新聞購読の取りやめが増加している。
	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・前月に比べて販売価格が値下がりしており、売上が落ち込んでいる。
	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・年初の需要は多少回復したものの、得意先の販売店ではすでに在庫が過剰な状況であり、受注量は右肩下がりである。
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
変わらない	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・派遣に比べて人件費が抑えられるパートやアルバイトの求人が増えており、派遣は短期間の案件が増えている。
	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・応募が集まりにくいコールセンターや低賃金の求人にも応募者が増えている。求職者は希望条件を見直しており、求人内容をえり好みする様子はない。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・取引企業からの求人広告依頼がほとんどなく、この状況がほぼ一年続いている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が、今月に入って再び前年を下回っている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は減少傾向が続く、求職者数が増加しているため、有効求人倍率は横ばいで推移している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が再び減少に転じ、前年を大幅に下回っている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は、依然として前年を下回っている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・緊急雇用事業を除いて、求人数はほぼ全産業で低迷している。

やや悪くなっている	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・前年に比べて受注が減少している。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・老舗の小売店や温泉ホテルの倒産により失業者が増え、地域の雇用環境は悪化している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・回復傾向にあった求人数が、前年比25%減と再び落ち込んでいる。経済の先行きが見えないため、企業は再び求人を絞っている。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・継続して雇用調整を実施する企業が多い。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は全業種で常用、パート共に大幅な減少が続いている。
悪くなっている	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・下半期の急速な需要減少に伴い、複数県で拠点事業所を閉鎖することが決まった。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・リストラなどで失業者が増加しており、派遣求人は需要のない状況が続いている。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・前月同様に企業求人は減少しており、大型ホテルの廃業や撤退などの要因が加わり、景気に上向き感はない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	新規求人数は、大幅な減少があった前年に比べて、さらに3割減少している。